

構成町村

木曾広域消防本部は、木曾郡6町村（木曾町・上松町・南木曾町・木祖村・王滝村・大桑村）から構成され、小説家・島崎藤村の『夜明け前』の冒頭「木曾路はすべて山の中である。」のとおりに、緑豊かな山間の地域を管轄している消防本部です。

管轄地域は木曾郡内6町村と塩尻市榑川地区を消防業務受託地域として管轄し、管轄総面積は1663.99km²とおおよそ香川県と同じ面積になり、県下消防本部の中で3番目に広い面積を職員総数68名体制で管轄しています。



総面積	476.03km ²
総人口	10,355人
世帯数	4,707戸
消防団員	317名

木曾町は、平成17年に4町村(木曾福島町・日義村・開田村・三岳村)が合併して誕生した長野県内最大面積の町です。江戸時代には中山道の宿場『福島宿』として栄え、四季折々の風景や各地域の歴史、伝統文化、特産物など多くの見どころがあります。



総面積	168.42km ²
総人口	4,015人
世帯数	1,692戸
消防団員	150名

上松町は、「ひのきの里」とも呼ばれており、木材産業が中心です。中でも赤沢自然休養林で伐採した『木曾ヒノキ』は、三重県伊勢神宮の社殿に使われています。また、世界初の森林セラピー基地や赤沢森林鉄道を擁する、森林と関わり深い緑の町です。



総面積	215.93km ²
総人口	3,854人
世帯数	1,609戸
消防団員	278名

南木曾町は、木曾郡の南端に位置し、郡内町村の中で最も温暖な町です。町内には中京圏を結ぶ国道19号線、飯田市を結ぶ国道256号線が走り、古くから郡内交通の要所となっており、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている『妻籠宿』には、世界中から多くの観光客が訪れます。




総面積	476.03km ²
総人口	2,279人
世帯数	976戸
消防団員	120名

旧 榑川村は、平成17年の市町村合併により塩尻市に編入しました。合併後、塩尻市榑川地区を消防業務受託地域として管轄しています。



総面積	140.50km ²
総人口	2,616人
世帯数	1,021戸
消防団員	165名

木祖村は、木曾郡の北端に位置しており、郡内の中心を縦断する『木曾川』の源流の地であることで、「木曾の祖」という意味合いを持つ村です。『やぶはら高原スキー場』や『こだまの森』、『奥木曾湖』などにおいて、様々なアウトドアレジャーが楽しめます。



総面積	310.82km ²
総人口	712人
世帯数	370戸
消防団員	53名

王滝村は、長野県内で1番の面積を誇る村で『御嶽山』のふもとに位置します。村の気候と自然は人々の生活に関連が深く、中京圏には水資源を、関西圏には電力源を供給しています。夏は涼しく、冬はウインタースポーツが4月下旬頃まで楽しめます。



総面積	234.47km ²
総人口	3,396人
世帯数	1,520戸
消防団員	129名

大桑村は、木曾山脈と阿寺山地に挟まれた山間の村です。最も有名な観光・レジャースポットとして『阿寺渓谷』があり、そこを流れる『阿寺川』の透明で美しい水流は「阿寺ブルー」と称され、多くの写真家や郡内・県内外から川遊びを楽しむ人々で賑わっています。